

「ふるさと納税」への大村市の
対応、取り組みについて
「簡易水道事業」と「水道事業」
の統合について

村上議員

(1) ふるさと納税について

ふるさと納税とは、自分の住所地に納付すべき住民税の一部を、自らの選択で自分のふるさとである自治体に納付できないかという発想から動き出したものであります。全国各自治体における「ふるさと納税」への取り組みが報道されており、大村市ではどのような対応、取り組みをされているのか、そのことでどのような効果が期待できるのでしょうか。

(2) 簡易水道事業について

水道局では北部簡易水道の新規水源開発を続けていますが、そもそも経営的にも効率的ではないといわれる簡易水道事業を続けるより、佐世保市など地下水がない自治体に比べればまだ余裕があると思われる大村市であり、これまでに経過がある水道事業との統合をしてはどうかと考えますがいかがでしょうか。

市長

(1) 東京や大阪をはじめ全国に多くの大村出身者を輩出する本市においても、ふるさと納税制度を踏まえた、ふるさと大村



花と歴史につつまれたふるさと大村（写真は大村公園）

のPRと寄附のお願いは今後積極的に取り組みを進めていきたい。

大村出身者をはじめ、大村のことを一生懸命思ってくださいる方々から寄せられる寄附を、ふるさとを思う大切な心としてとらえ、今後の大村市のまちづくりにおける貴重な財源として活用させていただきたい。そして、寄附という形で、大村を応援してくださる方々が市政に関心を持つていただくことで大村のまちづくりへの参画が推進できるのではないかと大いに期待している。

水道事業管理者 (2) 国においては、

昨年、簡易水道事業の再編成推進事業の補助要綱が改正され、飲料水供給施設の組合の統合を含めて再編が推進されるようになった。この補助事業を活用するためには、平成21年度末までに統合計画の策定が必要である。将来の水需要の見通しや財政上の問題、地元の意向など十分つかんだ上で、総合的な見地から統合について検討を進めていきたい。

(その他の質問事項)

- ・ 水資源対策室について
- ・ 裏山の滝しやくなげ苑について
- ・ (仮称) 松原駅整備事業。
- ・ 野岳町における温泉施設建設計画について

「学校2学期制」

評価と課題は

伊川議員

(1) 教育行政について

① 学校2学期制が始まって2年が経過した。初年度は夏休みのあり方などいろいろ指摘されていたが、2年間の評価はどのようになっているか。また課題についてはどうか。

② 学校給食について。健康面からも伝統的な日本食の良さが見直され、自給可能な米の消費拡

大と合わせて米飯を増やす取り組みが広がっている。現在週3回の米飯を増やせないか。白米ではなく分搗き米にできないか。

(2) 風致地区について。忠霊塔周辺は風致地区になっているが、近年宅地化が進み、住宅が増えてきた。風致地区内では様々な規制があるというが、具体的にはどのようなことが許可され、また規制されるのか。

教育長

(1) ① 教職員や児童生徒、保護者にアンケートを実施した。保護者の8割が長期休業前の教育相談については、学校生活の現状や今後の改善点等共通理解を図るためには有効であったとしている。「さらなるふれあいの教育を実践する2学期制」というテーマのもとに各学校が努力、工夫した結果であると受け止めている。

今後は、2学期制の特性を生かした事業改善を一層深めていくことが課題である。

② 米飯給食を増やすと給食費をさらに圧迫することが考えられる。和食の重要性も再認識されており、価格等の問題が解消すれば実施を検討することも考えられる。分搗き米については、県給食会が取り扱っていない。

都市整備部長

(2) 風致地区内では、風致に影響を与えるものとして